

シルバーパス改善を

共産党都議団が

12月議会に
条例を提案

日本共産党東京都議団は、12月議会(第4回定例会)に「東京都シルバーパス条例の一部を改正する条例(案)」を提案することを発表しました。

改善案の概要

- 1、負担軽減—現在2万510円
(所得125万円超の方の場合)の負担額を、所得に応じて軽減(具体的には所得125万円超で200万円以下の方の場合3000円パスの発行)
- 2、多摩都市モノレールや、ゆりかもめにも適用
- 3、都県境のバス路線での利用拡大

70歳以上の都民が利用できるシルバーパスは、高齢者の健康と社会参加にとって大切な制度です。

しかし、所得が一定程度超えると、千円から一気に2万円以上になってしまい、多くの方から「所得に応じた3千円、5千円のパスを作ってほしい」などの切実な声が寄せられていました。

また「多摩都市モノレールにも適用を」、「都県境をまたいでも利用できるような」の声も強く、こうした願いにこたえる改正案です。

高齢者の健康と
社会参加に欠かせない
制度をよりよく

高齢者福祉の充実は、都民が都政に
求めるもっとも大きな課題の一つです。

一緒に声をあげ実現しましょう。

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2020年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社(港区芝 1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可